



ロータリー:
変化をもたらす



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ
東京武蔵国分寺ロータリークラブ

クラブテーマ
温故・知新(クラブ奉仕と会員増強)

2017, 10, 23

週報

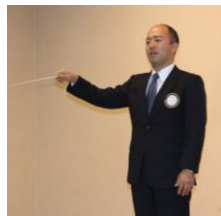
第1092回 例会報告

司会: 佐藤 喜義
SAA 委員長



【開会点鐘】
廣瀬 可世子 会長

【ロータリーソング】
ソングリーダー:
村谷 晃司 会員
『四つのテスト』

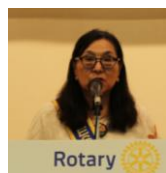


【お客様紹介】
廣瀬 可世子 会長
*遠藤 泰夫 様
(地区米山記念奨学委員会副委員長)
*岩田 敏雄 様
(東京小平RC)



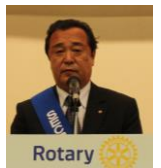
【会長の時間】
廣瀬 可世子 会長

皆さんこんにちは、先週のガバナー公式訪問は、皆様のご協力のもと無事に終わる事ができ、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。初めてこの会場で行うということで、今まではガバナーにコーヒーをお出しすることや、お食事をお出しすること、後片付けも含めレストランが行



っていた仕事を事務局が全て行わなければいけないということで、1 ヶ月前から幹事、会場監査委員会、事務局でいろいろ話し合いながら、何をどうしたら事がスムーズに運ぶかとみんなで試行錯誤しておりました。何事も初めてというのは、大変なことです。私自身も勉強させて頂きました。それと感じたことは、リハーサル的重要性です。頭の中でうまくいっても現場では全て思い通りにはいきません。よく準備 90%残り 10%が現場と言いますが、準備 100%と思っても結果は 90%に終わるということです。そして、多摩信用金庫様のご協力なしでは、実現しなかったもので、本当に感謝しております。私たちが朝来たときには、椅子がきちんと並べてあったのです。多摩信さんにとっても、初めてのことなので、心配だったそうで、池田支店長はじめ皆様で椅子を並べて下さったそうです。本当にご協力感謝申し上げます。ありがとうございました。今月は米山月間ですので皆様ご協力宜しくお願い申し上げます。

【幹事報告】
角田 桂司 幹事



10月11日第8回地区補助金委員会
10月16日親睦活動委員会炉辺会議
10月20日MKR会ゴルフ
*臨時理事会が開催され、クラブジャンパーの費用、クラブからの代表派遣について協議されました。

第 1093 回夜間移動例会

点鐘: 18:00

会場: 正覚寺

【委員会報告】

★出席委員会／出席報告

伊藤 文昭 委員長

会員数 38名 免除4名

有効会員数 34名

出席者 22名

メイクアップ済 5名

計 26名 出席率76%

前々回（10月2日91%を94%へ訂正）



います。これからの人生は、「自分のやりたいことを全てやる！！」です。30周年にニコニコです。



★米山記念奨学担当

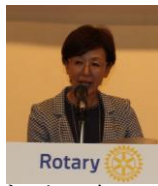
瀬野 ちどり 委員

10月は米山月間です。

米山記念奨学委員会委員長の

遠藤泰夫様にお越しいただいておりますが、本日出席の方には全員2万円のご協力をいただきました。

ありがとうございます。今日欠席の皆様には、次回の例会でも引き続きお願いしていきますのでよろしくお願いいたします。



【卓話】

講師紹介

興水香 プログラム委員長

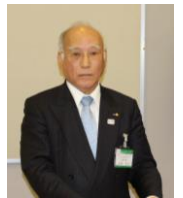


「ロータリー米山季記念奨学について」

米山記念奨学委員会副委員長

遠藤 泰夫 様

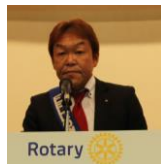
(*スライド資料を用いながらお話しいただきました。以下はその一部のご紹介です)



【ニコニコボックス】

親睦活動委員会

本多 幸雄 委員長



○廣瀬 可世子会長、角田 桂司 幹事

本日は、米山記念奨学委員会遠藤副委員長の卓話宜しく御願ひ致します。

○瀬野 ちどり 会員

先日 MKR 会で見事に2位をゲットしたので、ニコニコいたします。

○鈴木 義明 会員

小雨が降る中、私が会長年度の第1回 MKR が会員の皆様のおかげで無事終了する事が出来ました。また、個人的には、ベスグロをいただきありがとうございます！

○伊藤 文昭 会員

先日の MKR が会員ゴルフ、厳しい指導の元、又々ブービー賞頂きニコニコ致します。

○興水 香 会員

結婚30周年に到達しました。3人の子育てと仕事の両立で馬車馬の様に朝から晩まで働きました。夫の協力があってこそ今があると感謝して

本日は、米山記念奨学事業についてお話しさせていただきます。今月は米山月間ということで、本日のたくさんオン会員の方々に協力いただき有難うございます。

*対象となる学生について

奨学事業についてはなぜ日本の学生が対象にならないのかというご質問を受けることがあります。これは定款の目的に外国人に対して奨学金を支給することが規定されているからです。財産法人の目的の関係で、外国人への支援となっています。

*奨学金の渡し方について

クラブへ訪問して手渡しすることになっています。これにより、活動への理解も深まります。

*米山記念奨学事業の経緯と現状について

1952年に事業構想が作られ米山事業がスタートしました。1967年に財団法人が設立され今年50周年になりました。アジアだけではなく、世界からの留学生を対象としています。2017年は793人の奨学生を援助しています。

中国、韓国だけでなく、ベトナム、モンゴルからの奨学生が増えています。当地区の米山奨学生は38名、海外からの書類選考などを含めると42名

となります。

選考は、指定校の選定、指定校からの推薦、応募書類のチェック、地区による面接・選考を行っています。倍率は2から3倍となっています。100名程度を一日で面接しています。

短時間での面接は困難で、中には選ばれてから問題が見つかる場合もありました。

将来の活躍が期待できる人材、学業、異文化理解の柔軟性などを考慮しています。しかしどう活躍いただくかについては、クラブ会員の役割も大きいと思っています。

中国で弁護士として活動している方、韓国で大学教授をしている方、駐日韓国大使を務めた方など、さまざまに活躍されています。

学友会が世界9か国で、日本でも33の学友会が発足しています。

タイ、スリランカ、韓国、ベトナムでも植林、老人福祉施設慰問などの活動がなされています。国内でも、岩手、宮城、神奈川、大阪、広島・山口などでリング狩り、国際交流会、陶芸体験なども行われています。

2750地区でも2015-16年度に学友会が発足しました。ロータリアンも賛助会員として資金援助しています。

収入は利子収入を含めると16億4700万円、管理費は利子収入で賄われています。

3年連続で収支がプラスとなっており、奨学事業安定積立資金として速やかに奨学事業へ使用する予定です。

昨年は特別寄付者がおられ平均23000円となっていますが、例年は16000円くらいです。

貴クラブには一人平均2万円の地区目標を達成いただいています。

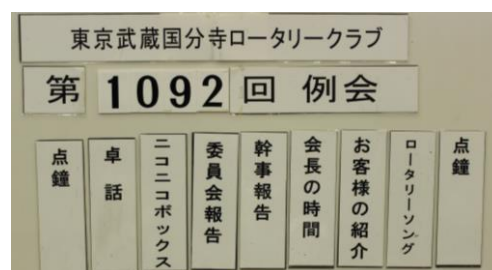
50周年記念式典開催や記念誌、記念品の制作も行っています。「豆辞典」も適宜ご参照いただければと思います。

【謝辞】

廣瀬 可世子 会長



【閉会点鐘】廣瀬 可世子 会長



東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長: 廣瀬可世子 幹事: 角田桂司

クラブ広報・会報委員会 委員長: 村谷晃司 副委員長: 保坂光彦 委員: 尾崎幸信

例会場 国分寺市本町3-11-12 多摩信用金庫 国分寺支店3階

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F